

※令和7(2025)年11月18日に発生した大分市佐賀関の大規模火災により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

もっと宇佐を! もっと大分を!

令和8年3月26日発行

活動報告

SUEMUNE HIDEO Vol.5  
KENSEI REPORT

すえ むね

大分県議会議員 6期目

# 末宗ひでお

## 生活負担の軽減を!!!

プレミアム率30%の商品券が発行されます

ごあいさつ ~ふるさと宇佐と大分の未来のために~

平素より、志士の会 末宗 秀雄(すえむね ひでお)の活動に対し、温かいご理解と力強いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、世界情勢を見渡しますと、ロシアによるウクライナ侵攻、アメリカによるベネズエラへの攻撃、アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃(原子力発電所も被害)など、世界情勢は悪化しています。遠い国々の話ではありますが、その影響は、近年の物価高に加えて、中東情勢の危機によるガソリン価格高騰など、我々の生活に直結しています。決して無関係ではありません。

国内情勢を見渡しますと、令和8年(2026)年2月の衆議院議員総選挙では、高市内閣の大勝でしたが、物価高による生活苦など、問題は山積しています。

大分県においては、大分市佐賀関の大規模火災による被災者に対して、大分県は義援金や県税減免措置など、大分市は支援金事業など、復興に努めています。こういう時にこそ、県民同士の助け合いと思いやりの精神が必要です。

経済面については、物価高対策として、プレミアム率30%の商品券を発行予定です。また、ガス代軽減などの各事業が実施されています。

また、大分市一極集中によって、特に「限界集落」と言われる地域が寂しくなる一方です。過疎化対策として、例えば、移住者には市県民税を免除すれば、人口増が期待できます。

教育についても、高校入試制度の全県一区廃止によって、生まれ住んだ地域で学び育つことで、人口減を防げます。

さらに、地域に安心して暮らせるよう、防災対策が必要です。奇藻川は以前改修していますが、豪雨台風などの大災害時に冠水の蓋然性が懸念され、県には早急に適切な対策工事が求められます。

宇佐市においては、令和7(2025)年4月に後藤 竜也(ごとう たつや)候補が宇佐市長選挙に2回目の挑戦で初当選、市長に就任しました。後藤市長は16年振りの新市長であり、また平成の大合併後の新宇佐市制で史上最年少の就任ということもあり、市民の注目と期待が集まっています。

今後の政治経済情勢は、国内外ともさらに厳しくなると思われ、将来の社会は全く予想ができません。例えば、近年では、AI(人工知能=Artificial Intelligence)の台頭によって恩恵がある一方、犯罪に悪用されたり、人間の仕事を奪う事態も起きています。

先行き不透明の混迷の時代には、政治に限らず、人生や事業において、私は「志」が大変重要と考えます。近代農学教育の功労者であるクラーク博士の「少年よ、大志を抱け!」「Boys, be ambitious!」という名言はあまりにも有名です。しかしながら、志だけでは不十分であり、行動と実践も、志と同じく重要です。

今後の展望ですが、長く物価高に苦しむ現状を打破するために、強力な経済対策を打ち出さなければなりません。鉱物資源の乏しい日本は、人間が最大の資源であり財産です。人は宝であり、人材は人財です。今後の大分県政と宇佐市政を、安心して任せられる、大志ある有言実行の人物が強く求められています。私自身は微力ながら、大分県議会議員として、誠心誠意、全力で大分県政に取り組んで参ります。また、地元である宇佐市のさらなる発展に、尽力させていただきたいと思っております。もっと宇佐を、もっと大分を光り輝かせ盛り上げていきたいと思っております。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。  
今後も、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



宇佐市消防出初式にて 後藤 竜也 宇佐市長と  
(地域防災のさらなる強化へ)



令和7年9月11日大分県議会本会議  
高校入試制度などについて一般質問